

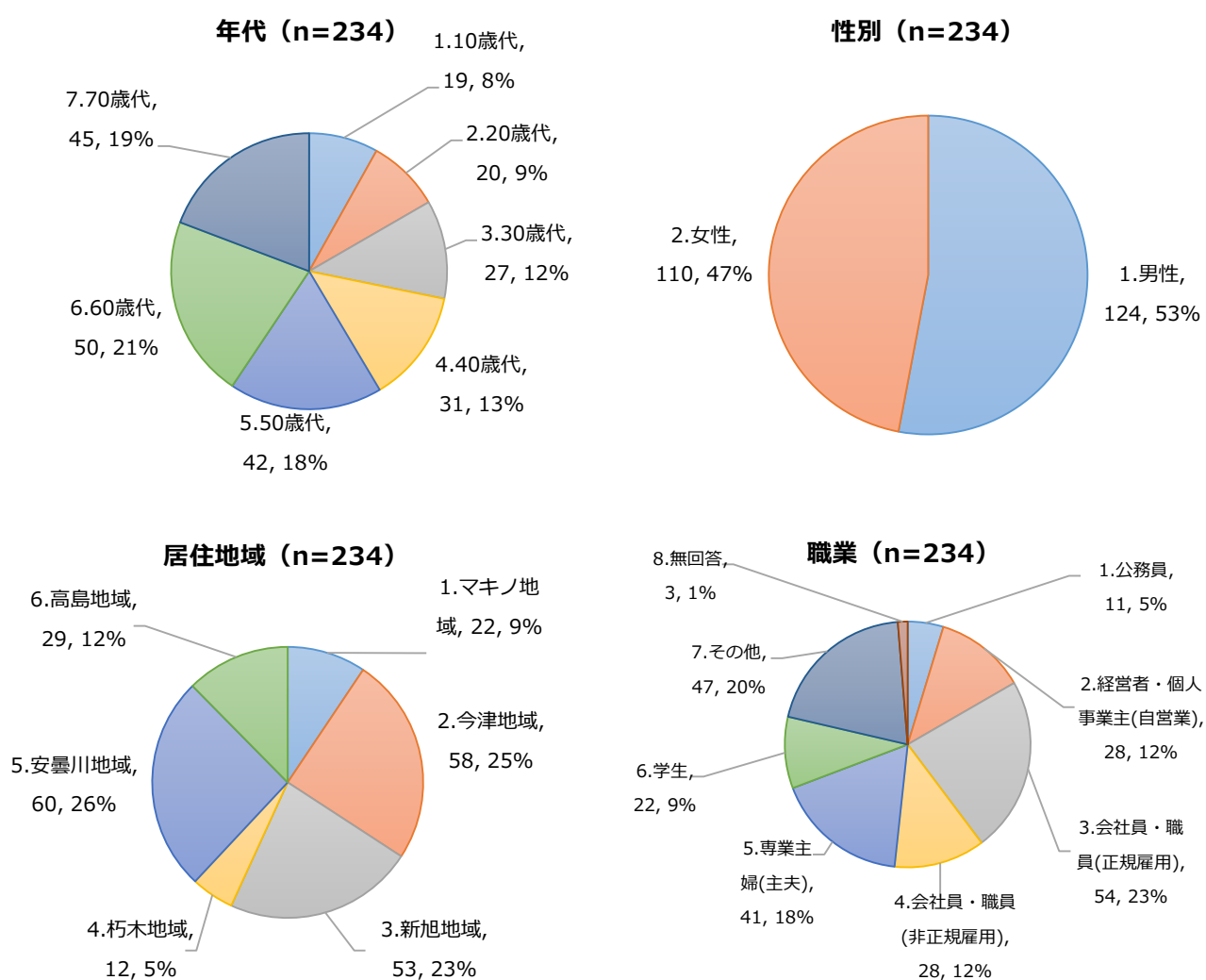
令和元年度 第1回市政モニターアンケート集計結果

第2期高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にかかるアンケート調査

今回のアンケートは、人口減少を緩和するとともに人口規模に合わせた持続可能な自治体の実現をめざすために策定を進めている「第2期高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の参考にするために実施しました。

【実施期間】	令和元年7月3日（水）～19日（金）
【モニター登録者数】	290人
【回答者数】	234人
【回答率】	80.6%

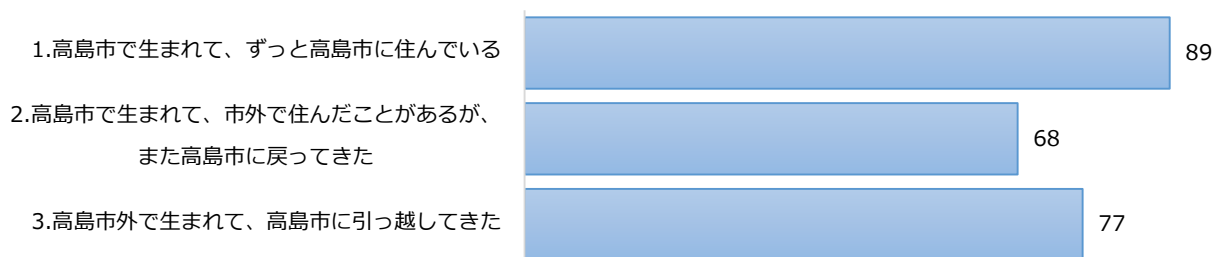
■ 回答者の属性（単一回答）



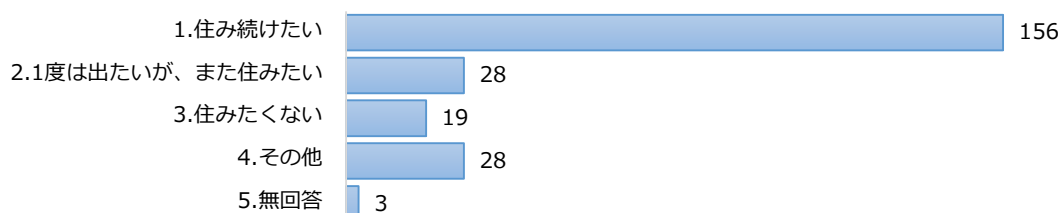
<その他> アルバイト、パート、無職、家事手伝い、農業、団体事務など ※類似意見は省略しています

■ 居住や愛着、子育てについて

あなたは高島市以外に住んだ経験はありますか（単一回答）（n=234）

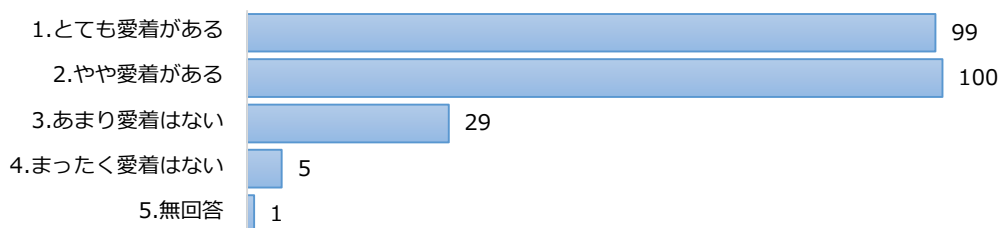


あなたはこれからも高島市に住み続けたいですか（単一回答）（n=234）

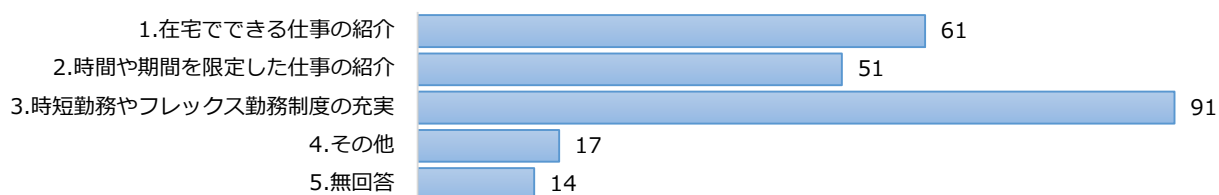


＜その他＞ どこでもいい／出る予定がない／一時的に住むのはよい／老後は町（都市部）へ行きたい／会社次第／やりたい仕事がないので住めない。通うことができない／住みたいが車を手ばなすと生活にこまる／運転ができなくなれば、住めない／離れて住む親の介護問題がでてきたらわからない／住み続けると思う／住み続けなければならない／こだわりはない／経済的に問題なければ便利な土地に引越したい／分からない／住み続けざるをえない／どちらでもよい／福祉関係がもっと充実していれば住みやすい地域だと思う／どちらとも言えない／配偶者と死別したら考える／嫁いだから住んでいるだけ。自然等魅力的な面もあるが、文化面ではつまらないと思うことが多い／仕方なく住んでる／住みたいとが、高齢になったときのことは不安に感じる ※類似意見は省略しています

あなたは高島市にどの程度愛着（好感）がありますか（単一回答）（n=234）



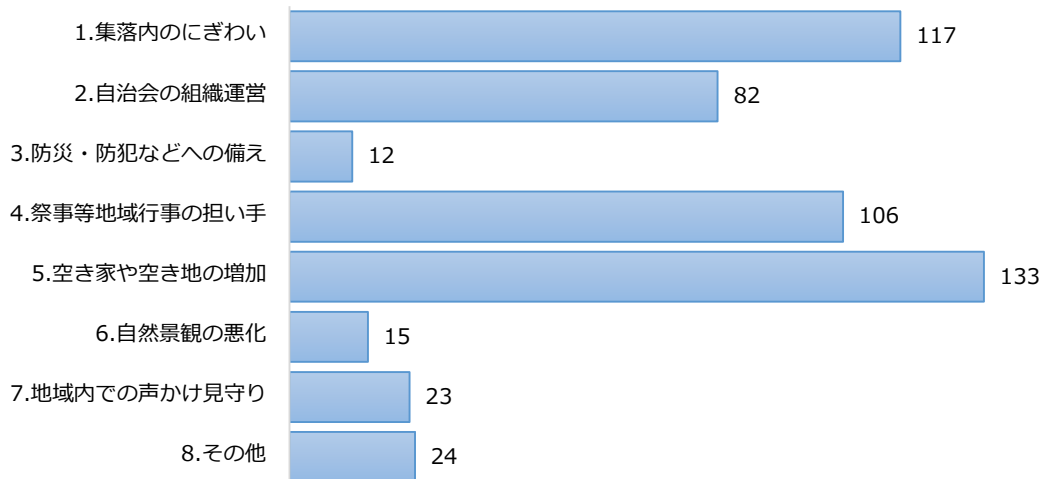
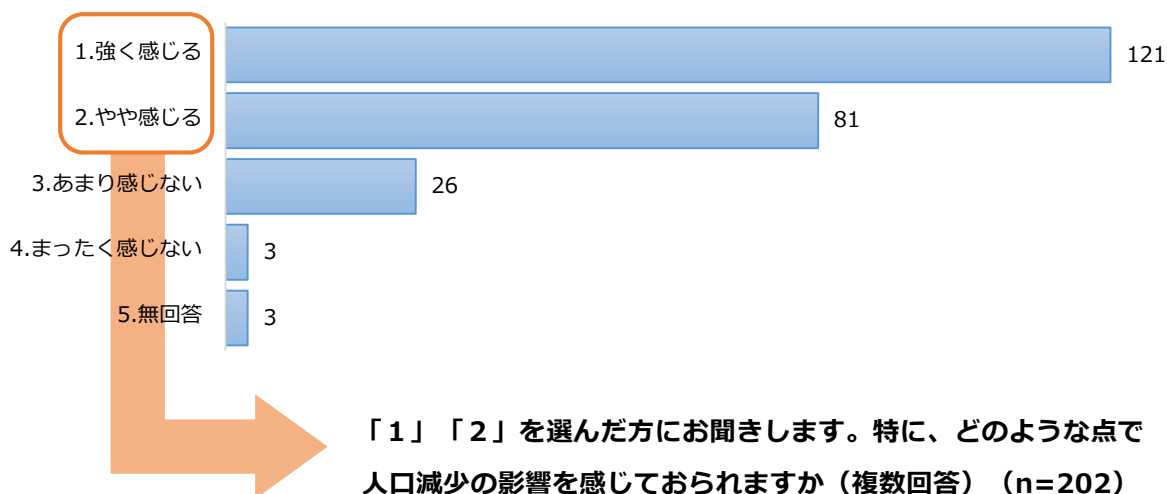
子育てと仕事を両立する上で、市内にあれば望ましいと思うサービスや制度についてお答えください（単一回答）（n=234）



＜その他＞ 正規で働ける仕事がない／送り迎えのシッター／シェアオフィス／JR湖西線運転取りやめ時の対策／病児保育の充実。感染の恐れがある子がいると預けられない／保育園の保育時間の延長、学童保育の充実／保育環境と仕事が両方備わった施設／企業が高島市内に多くあるとよい／今のところ、特になし／託児所／保育所や医療支援の拡充 ※類似意見は省略しています

■ 人口減少について

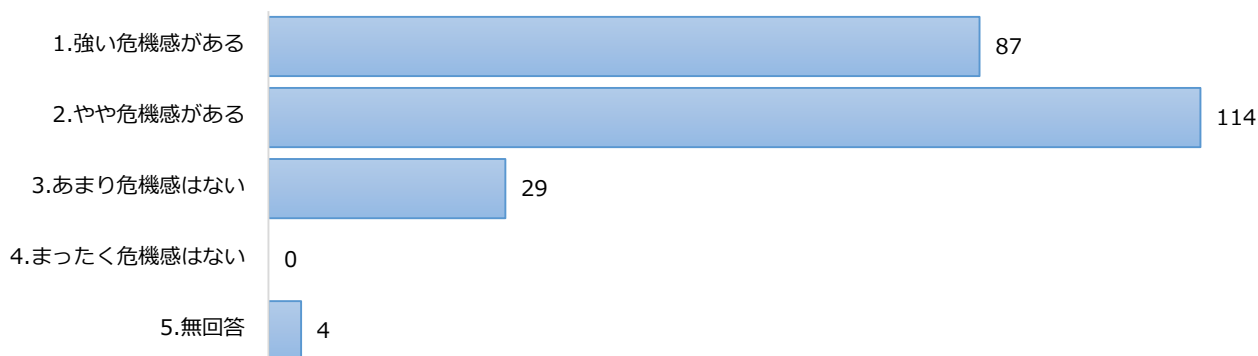
あなたは人口減少の影響を感じていますか（単一回答）（n=234）



<その他> 働く会社等少ない／学校やこども園などの生徒や園児の数／農地の荒廃／子どもや若い人が少い／市内の高校の志望減／部活動での部員入部不足／学校のクラス減／店や職場での人手不足／核家族の増加／担い手がいない／地域によって格差がある

※類似意見は省略しています

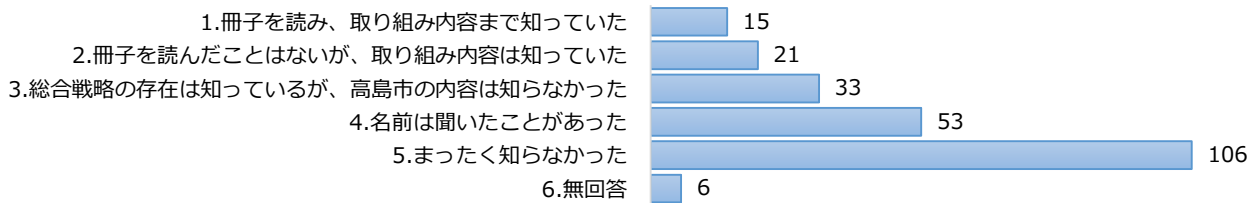
あなたは人口減少に対する危機感をお持ちですか（単一回答）（n=234）



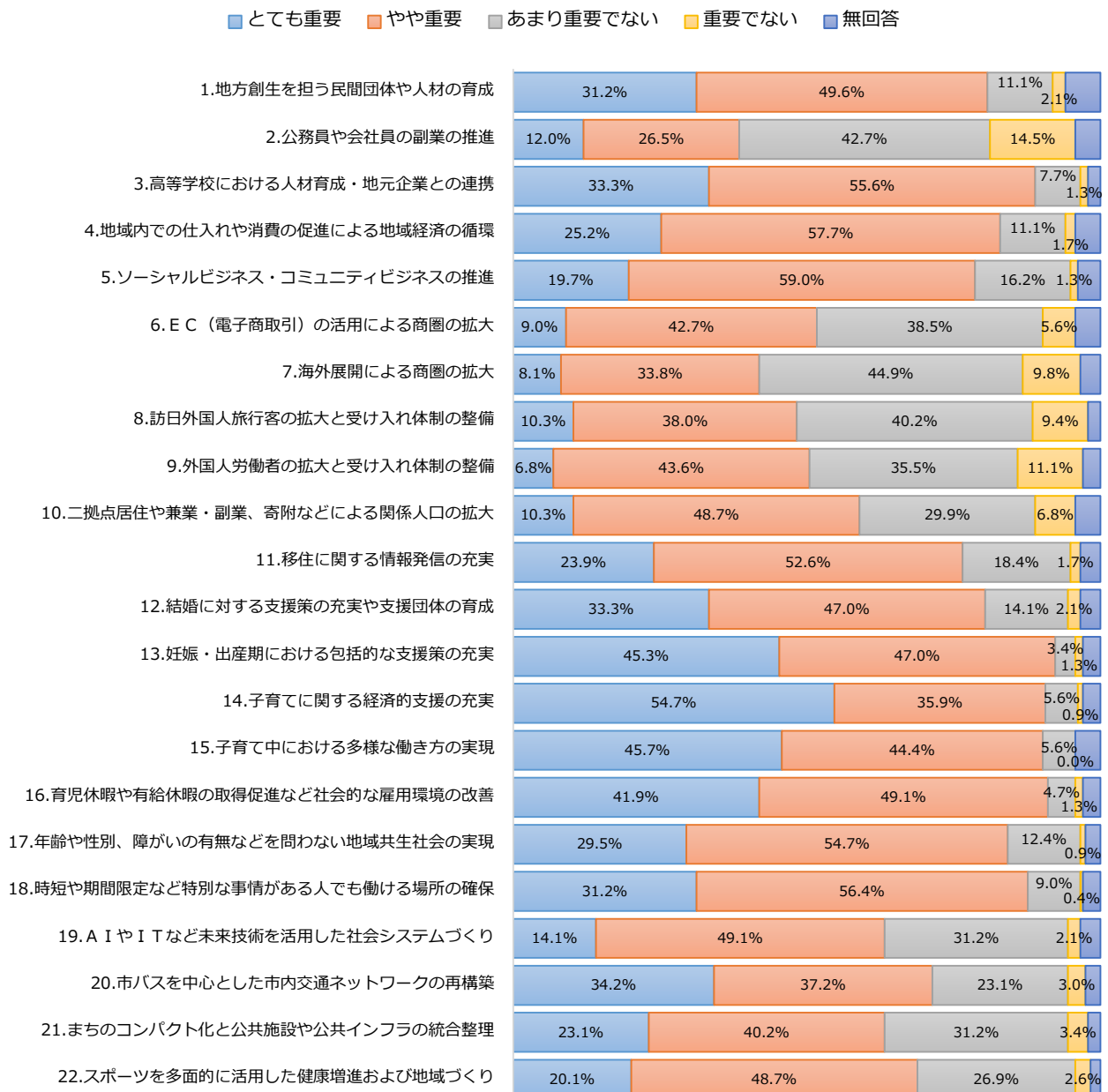
■ 総合戦略について

あなたは高島市のまち・ひと・しごと創生総合戦略についてご存じでしたか

(単一回答) (n=234)

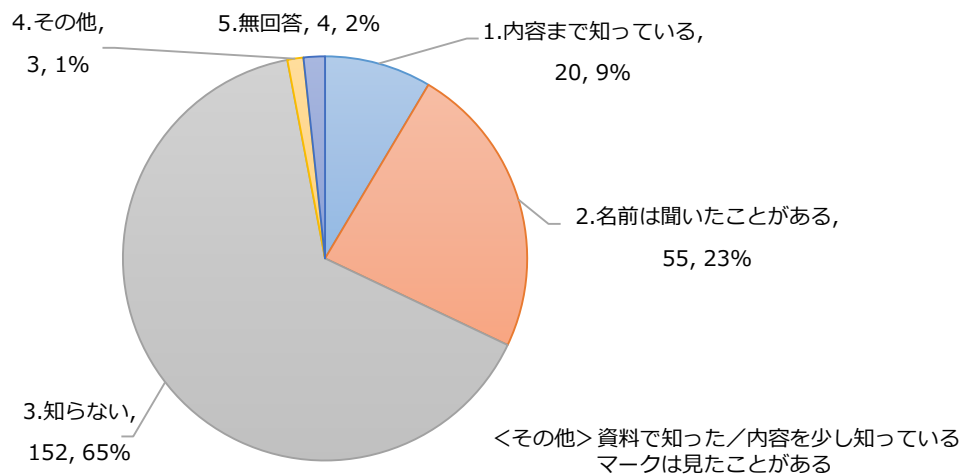


次の項目は、人口減少に対して国が推進しようとしている施策の例です。高島市に置き換えたとき、あなたが考える重要度を項目ごとに記載してください。(4 = とても重要、3 = やや重要、2 = あまり重要でない、1 = まったく重要でない。項目ごとに○印はひとつ。ただし「4 = とても重要」は、全項目を通して3つまでとしてください) (単一回答) (n = 234)

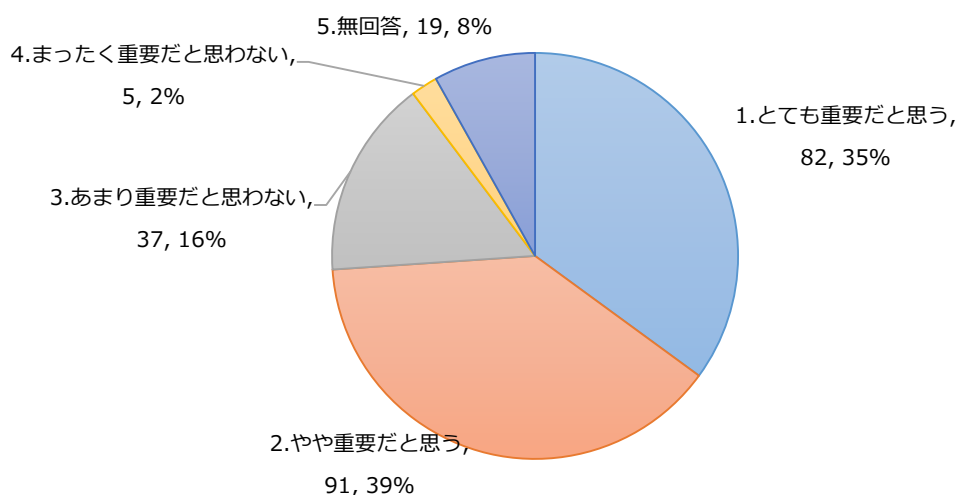


■SDGsについて

あなたはSDGsについてご存じですか（単一回答）（n=234）



あなたはSDGsの重要性についてどのように考えますか（単一回答）（n=234）



■SDGsとは……

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標(その下に、169のターゲット232の指標が決められている)。特徴は、以下の5つ。

- 普遍性 先進国を含め、全ての国が行動
- 包摂性 人間の安全保障の理念を反映し
「誰一人取り残さない」
- 参画型 全てのステークホルダーが役割を
- 統合性 社会・経済・環境に統合的に取り組む
- 透明性 定期的にフォローアップ



■人口減少に対するお考えについて

※多数のご意見ありがとうございます。紙面の都合上、代表的な意見を抜粋し、一部要約しています。

今後の人口減少に対して、高島市における仕事づくりや雇用の確保についてあなたのご意見をお聞かせください（自由記述）

- ✓ 農業・林業・漁業を会社組織にして、安定した収入を得られるようにしてはどうか。
- ✓ 伝統産業や地場産業の担い手を増やすために内外に対して情報を広く発信する。
- ✓ 安定した収入を得られる職場の確保。企業誘致政策の強力な推進。
- ✓ 企業誘致に向けた取り組みの強化が必要だと考えます。
- ✓ どういった雇用があるのか。若者に伝わっていないので広告をもっとしたほうがいい。
- ✓ 何かを誘致するというよりも、高島市の既存の資源やサービスを利用し、高島市ならではの産業を振興すべきだと考えます。加えて、それが雇用に結びつく環境を整えることが大切だと考えます。
- ✓ 雇用に関する相談先を充実させてほしい。
- ✓ 高島市の仕事を一気に紹介できるようなイベント（就職フェア）の実施をするといいと思う。
- ✓ 高島市は街に比べて給料が安いと思う。賃金のアップや福利厚生の改善を見直すべきであると思う。
- ✓ 仕事づくりや雇用の確保のうち、私は仕事づくりに注目したい。自然豊かな高島市では第一次産業から第三次産業まで展開することが可能で、多様な仕事をつくることで市民一人一人が輝ける場所をつくることで、失業率も低下し、市全体が盛り上がるように思える。
- ✓ 若い世代が定住でき、将来に希望をもって働ける職場・雇用先の確保。若い世代に住みやすく、子育てしやすい様、社会的な優遇措置を施す。高島の自然環境を活かした新たなビジネスに支援する。
- ✓ 私自身、正社員を辞め短発の仕事しながら祖母の介護をしています。在宅など自分の都合よく働ける仕事が高島市にもあればいいのにと日々感じています。副業等も含め仕事の多様化が進めば市外に出ていく若い人も減るのではと思います。
- ✓ インフラ整備をする事で企業を誘致でき お店もでき仕事も人口も増えていくのではないかと思います。
- ✓ シルバー人材センターの年齢等の垣根をなくした登録派遣が出来たらいいなと思います。ボランティアに近い価格でも、困っている(人手がいる)ところにお手伝いに行けるようなイメージです。

今後の人口減少に対して、高島市における若者の定住や高島市への移住を促進することに関してあなたのご意見をお聞かせください（自由記述）

- ✓ 家屋の新築に関して補助金の創設や居住する事に対する税制面での優遇措置など。
- ✓ 空き家を改修して、初め3年間ぐらゐは家賃を無料にするようにして、高島の良さを知ってもらい定住してくれるようにすれば良い。
- ✓ 古民家を改造し店舗に変え、都会からカフェや雑貨店などを経営したい若者に有利な条件で運営してもらう。
- ✓ 移住に力を入れることも大事かもしれないが、今住んでいる住民を幸せにする方が人口増加に繋げられるのではないかな。子育て世代が移住しても、その子どもがまた出て行ってしまう街では、増加にはならない。その子に残ってもらいたければ、住みやすく若者が魅力的なものにしなければならない。
- ✓ 高島市から出てしまった中年層で、やはり高島に帰りたと思う層を掘りおこし、もともと高島に住んでいた地元民を中心にもう一度高島市にUターン移住をするよう促す施策。
- ✓ JR湖西線が強風でよくとまるためベッドタウンとしての希望も少ない。交通網がもう少し発達、安定すれば高島で仕事なくても暮らせると思う。私は他の地域で住んだことがないが高島は住みやすいと思う。
- ✓ せっかく自然に囲まれているのだから、くらしも自然派の人が移住してくるよう給食はオーガニックや”自然なお産ができる”などを整えてアピールすべき。
- ✓ 高島市の素晴らしい自然や住みやすさを市外に向けてさらにアピール出来るとよい。
- ✓ どんな人材に来てほしいのかある程度のターゲティングをしても良いと思う。私は偶然高島に来たが「ちょうどよい田舎」は何の特徴もあらわしていないと思う（全国各地にあるので）。来てほしい属性の移住者に綿密な聞き取りをして施策に反映する等。

今後の人口減少に対して、高島市での結婚・出産・子育てを促進することに関してあなたのご意見をお聞かせください（自由記述）

- ✓ 私は結婚や子育てについて高島市は優れていると思う。
- ✓ 私自身は都会生活も経験しましたが、実際に両方で子育てをしてみて、改めて高島市での子育てのしやすさを実感しました。
- ✓ 観光スポット、物産のPRだけでなく、子育てしやすい環境を整備して、「子育ての地」としての高島市をアピールする。
- ✓ 出産に関しては、産院がないので、高島市での出産に不安を感じている同世代が多い。
- ✓ さらなる補助金の充実や子育ての悩みの相談先をわかりやすくしてほしい。
- ✓ 高島市、独自のものを（県内にないもの）考え、若者が自から高島に集ってくるような体制を作る（お金を入れる）。
- ✓ 出会いの場の提供（市をあげて取り組んでほしい）。
- ✓ 出産、子育ては良いが、結婚は行政が入るものではないと思う。
- ✓ 民間団体と協力して、婚活パーティーの頻度を増やす。包括的な子育て支援の充実を図る。
- ✓ 両性ともに正規雇用が保障され（職場の確保）、出産や子育て中の特別休暇がとれるよう保育の援助。地域毎にシルバー世代にも子育て・見守りの援助するシステムを作る。
- ✓ 娘は高島病院で2回出産をお世話になり、大変感謝しております。その後のケアー、市の保健師さん、小児科の先生もベストな対応でいつも喜んでいました。高島市の良さ、田舎の良さを外に向けてもっとPRする。
- ✓ 保護者でなくても、地域住民みんなで子供を見守り育てることを助けられる仕組みができればいいなあと思います。
- ✓ 結婚したと言う話と同じ位離婚の話を聞く。シングルマザーが子育てしながら働ける環境作りが必要。

今後の人口減少に対して、高島市における自治会や地域コミュニティの今後のあり方に関するあなたのご意見をお聞かせください（自由記述）

- ✓ 若者が積極的に参加しやすいような地域コミュニティをつくってほしい。（どのような活動をしているのかをTwitterやYouTubeなどの若者が使う媒体で公表する）。
- ✓ ボランティアや働く世代だけでは持たないので、一定報酬を支払って担ってもらおう。
- ✓ 高島のよさを住んでいる人が実感できるようなコミュニティづくりが必要だと思います。昨夏、高島おどりのイベントに参加しましたがすごく良いなと思いました。
- ✓ 地域の夏祭りが昔と比べて明らかに盛り上がりがなくなってきた。屋台に立つ人も若い人を呼ばばいいのにと思う。
- ✓ 自治会という組織ゆえに申請書、報告書等複雑な提出物が必要と思われる。高齢者でも役が持てるように提出物は大雑把にせめて3年に1度とかに出来ぬものか、働き盛りの方に負担がかかりすぎるように思う。
- ✓ 自治会の運営が難しくなるので、地区の連携をもっと進める必要があると考えます。
- ✓ 小さな区は地区役員の後継者が無いため、何度も繰り返して受け持つ又は不在になる現状にあるので、今後は複数の区が一つとなり運営して行く事を検討する必要がある。
- ✓ 自治会などの役、仕事が多いと若い人はやりたがらないと思う。いなかには神様事などある。若い人にやれといってもわからない。簡素化しなくてはいけないと思う。
- ✓ やや閉鎖的で、頭の固いの集落のコミュニティの意識を柔らかくする。今抱える問題の周知し、住民の意識改革が必要だと思う。
- ✓ よそ者扱いは厳禁。地元民はもっとオープンであるべき。強制的な自治会の勧誘ではなく、入会したいと思わせる自治会。
- ✓ 古くからあるもので、大切なものは守りつつも、若者に受け入れられるよう簡素化することも必要かと思います。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました！